

インディゴ 製品のご使用方法

原料にナンバンアイ葉（インディゴ）が含まれる製品の使用方法です。

対象製品：ヘナ 31 番、35 番、38 番、インディゴ、またはタマリンドを加えた製品

対象のインディゴ製品



裏面の続き

全体の流れ

Prepare [10min]
準備 10 分

Apply Indigo [30min]
塗り 30 分

Hair Pack [60min]
パック 60 分

Shampoo Hair [20min]
洗髪 20 分



ヘナで茜色に染まった白髪を落ちついた髪色へ



POINT
粉を 80 度のお湯でマヨネーズの固さに溶かす 40 度ぐらいの適温に下がったらご使用ください



POINT
白髪から塗り初める髪をしっかりと覆うペーストがパサついたらお湯を加えて調整する



POINT
最後に揉み込みラップとタオルを巻いて保温



POINT
お湯で溶かしてから丁寧に洗い流すお肌の強い方は湯すぎだけで◎

準備

- お湯（80℃前後）
 - 溶きボウル 2 個
 - かき混ぜスプーン
 - タオル
 - ラップ
 - コットン
- ハケブラシ
 - ケープ
 - 手袋

パウダー使用量



POINT パック前の髪について

若干、湿った髪の方が染まりが良いです。オイルマッサージをしないでヘナパックをする方は髪を濡らして、水気を軽く拭き取ります。整髪料が付いているときは洗い落としてください。



くぼみを作り 80℃のお湯を少しずつ注ぎます。

パウダーの中心部にくぼみを作り、そこにお湯を少しずつ注ぎます。内側から外側に向かって溶いていきます。かための状態で混ぜるとダマが残りにくいです。お湯を入れすぎないようにご注意ください。加えるお湯の量はペースト 50g に対して約 150 cc が目安です。溶き始めは 100cc までを注ぎ少しずつ混ぜてください。よく混ぜて柔らかく滑らかなペーストにしましょう。

よく混ぜて、適温まで冷めたらスグに使用する。

適度な固さのペーストになったら 40℃前後まで冷まします。ペーストが完全に冷めてしまうと発色が悪くなりますので、湯せんをしながら適温を維持してください。インディゴ製品は溶いて 2 時間以内が最も良く染まりますので、すぐに使用を開始してください。溶いてから 2 時間以上経ったものは発色を期待できないほか、痒みの出やすい成分に変化します。

POINT ペーストの固さについて

マヨネーズぐらいの固さが理想です。ペーストが柔らかすぎると髪から剥がれて染まりが悪くなります。

POINT ペーストの温度について

容器を湯せんしながらご使用ください。温度を人肌程度に保つことにより発色が良くなります。

POINT 白髪から塗り始める

白髪の部位と量を確認します。白髪の部分（または茜色）から塗り始め、最後にもう一度、ペーストで覆い隠すように塗ります。

1 ペースト作り 溶き方

2 塗り方

ヘナ 31 番、35 番、38 番から使用される方【塗る前の準備】

裏面 ② 頭皮マッサージ参照



POINT ゆっくりと丁寧に塗っていきましょう。ペーストがボロボロして塗りにくいときは、少量のお湯を足すと塗りやすくなります。



図のような間隔でコーム分けしながらインディゴを根元に塗っていきます。最初は「頭皮」だけにペーストを敷き詰めていくイメージです。塗りながらすり込みをすることにより毛根深くまで染めることができます。

「髪全体」にインディゴを塗ります。塗り終えた髪から頭頂部方向へ寄せ上げます。ロングの方は、ねじりながら巻くと安定します。この作業によりサイドの髪があらわれて塗りやすくなります。

全体的に塗り終えたら頭皮を揉み込みます。塗りムラを防ぐことができます。この揉み込みが染まり具合を左右しますので、しっかりと行いましょう。生えざわ、こめかみ、もみあげ、耳のうしろは急に入念に。

揉み込みで崩れた髪をもう一度束ねます。空気を抜くように押しつぶしながらトップ方向へまとめます。髪の短い方は、毛並みの方向に空気を抜きましょう。

濡れたタオルで肌についたインディゴをキレイに拭き取ります。次にコットンにペーストを塗りつけ、おでこの生え際、もみ上げに張り付けます。

3 パック 時間

ラップとタオルを巻いて終了です。



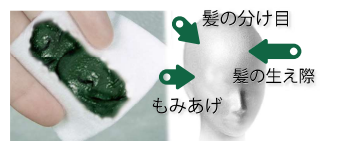
傷んだ髪ほどキューティクルコートが開いているため色素が多く吸着され染まりやすいです。

傷んだ髪 = 染まりやすい

5mm 以上伸びた白髪は、染まりにくいのでヘナとインディゴの 2 回染め工程をお勧めします。



POINT 染まりにくい部位はコットン貼りで染める。



4 洗髪

シャワーで溶かすようにペーストを洗い落とし、よく湯すぎを行ってください。シャンプーはお好みでご使用ください。肌についたペーストは石けん等を使用してしっかりと洗い落としてください。洗い残しがあると痒みの原因にもなります。タオルドライした髪に数滴のアムラオイル、またはリリーフオイルを髪全体に伸ばします。ドライヤーの熱から髪を守り、艶とハリを与えてくれます。

POINT 自然乾燥は色が濃くなる

しっかりと染めたい方には自然乾燥をお勧めしております。ドライヤーで乾かすよりも髪色に深みが増します。但し、髪が傷んでいる方は逆にダメージを与えますのでドライヤーをご使用ください。

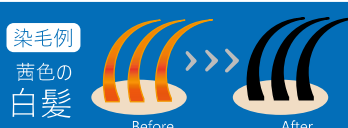
POINT 髪色は 24 時間後まで変化

インディゴを洗い流してから約 24 時間後までは髪色に変化（色が濃くなる）します。さらに色を濃くしたい方は、もう一度インディゴ製品だけを使用する「追い塗り」をしてください。



POINT よく洗い流してください。

敏感肌の方、アレルギーをお持ちの方は、インディゴを洗い流し終えたら石鹸で襟足、首回りの肌が露出している部位を良く洗ってください。肌にインディゴ成分が残ると（後）紫外線と汗による「光アレルギー」の原因（かゆみ、発疹）になる恐れがあります。



POINT さらに黒くしたい場合は…

染まりが弱い場合、さらに黒くしたい場合は、もう一度塗りなおす（追い塗り）が効果的です。2 回目は少量のパウダー使用でも色を落ち着かせることができます。

なぜ髪が染まる？



QR-LINK EXPERTISE
技術者向け情報ページ